

平成27年度経営発達支援計画状況報告

	目標	実績
1. 支援先掘り起し件数	33社	205社
2. 事業計画策定件数	33社	123社
3. フォローアップ件数		
①定期的なフォロー	33社 66回	82社 381回
②計画策定後の調査・分析	11社	0社
③出展補助金による支援	15社 (2社は事業計画策定支援)	3社 (事業計画策定支援企業1社)
④広報誌掲載実績	100社 (3社は事業計画策定支援)	96社 (事業計画策定支援企業12社)
⑤記者クラブへの情報提供	2社 (1社は事業計画策定支援)	1社 (事業計画策定支援企業0社)
⑥海外展開支援室	10社 (1社は事業計画策定支援)	9社 (事業計画策定支援企業4社)
⑦リーディング産業展出展	8社 (2社は事業計画策定支援)	3社 (事業計画策定支援企業0社)
⑧金融機関主催の展示会出展紹介	3社	0社
4. 創業支援件数	25名	14名

【有識者による評価・見直し案の提示】

開催日：平成28年5月18日（水） 13時30分～

評価：1. 四日市商工会議所が経営発達計画で定めた評価項目について、掘り起し件数、事業計画策定件数については、計画を大きく上回っており評価できる。

フォローアップ件数、創業件数については、やや目標を下回った項目もあるが、11月認定であったことも考慮すると、評価できる結果である。

2. 「平成27年度経営発達支援計画実施状況調査」の各項目については、全ての項目で目標を達成しており、評価できる。

見直し案：1. 今後計画を進めていく上で注意すべき点としては、そもそも経営発達支援計画の目的は、伴走型の出口支援である。

新たな需要の開拓に寄与する事業支援が最重要であることから、展示会・商談会出展支援事業者、販路開拓支援事業者を増やし、新たな需要開拓をした事業者を増やす支援に重点を置き、効果を上げてほしい。

そのためには、経営指導員は従来の経営改善事業だけではなく事業所のニーズを掘り起こすため提案型の支援を増やす必要がある。（情報提供等により事業者の需要を拡大し、売上・利益を増加させる支援）

従来からの御用聞きしてからアクションを起こす受け身型の支援スタイルではなく、売上ににつながるツールを提供していく提案型の支援スタイルへ転換していくよう努力してほしい。